

第7期（平成30～32年度）

酒田市高齢者保健福祉計画  
酒田市介護保険事業計画

酒 田 市



## 誰もがいきいきと 暮らしやすいまちをめざして

全国的に少子高齢化が進む中、本市の高齢化率は、平成29年には34%と、全国平均を6.3ポイント上回っております。平成37年（2025年）には団塊の世代が75歳以上となり、高齢化はさらに進展することが見込まれています。また、後期高齢者人口や高齢者世帯、認知症高齢者の増加が予測されており、地域における見守りや生活支援の体制整備が必要となっております。

こうした中、国において平成29年5月、高齢者の自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化、医療・介護の連携推進、地域共生社会の実現に向けた取組の推進、制度の持続可能性を確保する「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が成立しました。

本市においても、平成37年の目指すべき姿を踏まえ、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」をさらに推進し、本市の総合計画にある「暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合うまち酒田」の目指すべき方向性に基づき「誰もがいきいきと暮らしやすいまち」を基本理念に掲げ、その構築に向け総合的に取り組んでまいります。

今後も、高齢者の方々に元気に安心して暮らしていただけるよう、本計画の施策に取り組んでまいりますので、市民の皆様並びに関係機関の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、課題や方向性について熱心なご議論を賜りました「酒田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する懇話会」の委員の皆様をはじめ、ご協力を賜りました市民並びに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成30年3月

酒田市長 丸山 至

# 目次

<b>第1章 計画策定の基本的な考え方</b>	
1 計画策定の趣旨	9
2 他計画等との関係	9
3 計画の期間	10
4 計画の進行管理	10
5 計画の策定体制	10
(1) 計画の策定体制、計画の策定方法	10
(2) 住民への周知	10
<b>第2章 高齢者を取り巻く状況</b>	
1 高齢者の状況	13
(1) 人口構成の推移	13
(2) 高齢者人口と高齢化率	14
(3) 高齢者世帯数	16
(4) 高齢者の住居の状況	17
(5) 高齢者の疾病の状況	18
2 高齢者人口の推計	20
3 日常生活圏域ニーズ調査	21
(1) 調査の概要	21
(2) 調査項目	21
(3) 調査結果	22
4 在宅介護実態調査	27
(1) 調査の概要	27
(2) 調査結果	27
<b>第3章 計画の基本理念・基本目標</b>	
1 計画の基本理念	35
2 計画の基本目標	35
3 重点事項	36
<b>第4章 高齢者保健福祉の推進</b>	
1 健康で生きがいのある生活	43
(1) さかた健康づくりビジョン【健康さかた21（第3期）】の普及推進	43
(2) 生きがいづくり・社会参加の推進	50
2 地域包括ケアシステムの推進	54
(1) 高齢者に対する支援	54
(2) 飛島の高齢者への支援	61

## 第5章 介護保険事業の運営

介護保険事業の状況及び今後の方針	65
(1) 要介護認定者数の推移	66
(2) 第6期介護保険事業の概況	67
(3) サービス毎の給付実績と第7期の見込量	71
(4) 介護サービス基盤の整備状況	79
1 日常生活圏域の設定	80
2 介護基盤の整備	81
(1) 国の施設整備の考え方への対応	81
(2) 市の施設整備の考え方	82
(3) 高齢者の住まいの確保	86
3 地域支援事業の推進	87
(1) 介護予防・日常生活支援総合事業	87
(2) 包括的支援事業	93
(3) 任意事業	106
4 市町村特別給付	111
5 第7期計画期間以降の各サービス量及び費用見込	112
(1) 介護給付費の見込	112
(2) 介護予防給付費の見込	113
(3) 地域支援事業の見込	114
6 第1号被保険者の保険料	116
(1) 給付費の見込額	116
(2) 第1号被保険者の保険料基準額	117
(3) 保険料段階	119
7 介護サービス情報の公表	121
8 介護保険事業の適正な運営	121
(1) 介護給付費等適性化事業	121
(2) 自立支援・重度化防止への取り組み	123
(3) 相談窓口体制	124
(4) 介護分野における人材の育成・確保	124
(5) 保険料の収納対策	124
資料編	125